

ロシア停戦、各国の思惑

せいじけいざい
ていせんおもわく
かつこく

シリア停戦に関する話し合いをしたオバマ米大統領とプーチン露大統領
(2015年9月29日、ニューヨーク、Foto: UN Photo/Amanda Voisard)

「犬猿の仲」であるはずのアメリカとロシアが、共同で「シリア停戦」をよびかけました。なぜ? 中東で、とても大きな動きがありました。まだ確実ではないですが、成功すれば

「歴史的」といえるかもしれません。なんでしょうか? アメリカとロシアが2月2日、「シリア停戦」を共同で呼びかけたのです。

浩明、モスクワ、尾直哉、約5年間に及ぶシリア内戦を巡り、米国とロシアが2月2日、シリア時間27日午前0時(日本時間同日午前7時)からの停戦を呼びかけたことを受け、今後の焦点は停戦の履行に移る。

25万人以上の死者を出した戦いに終止符を打てるのか? アメリカ、ロシアは何を提案したのか?

アメリカとロシアはこれまで、シリアで完全に別の勢力を支援し、「シリア内戦」は、「米口サド派」を支援してきた。それが「共同で停戦を呼びかける」のは、よほどのことです。それが「共同で停戦を呼ぶ」と予測されていた。

2016年6月に「アサド政権によるアサド政権を支持するため、反アサド派」を支援しました。

アサドは、反米アサド政権を打倒するため、2013年8月には、「アサド軍が化武兵器を使用したのでシリアを攻撃する!」と宣言しました。

アサドは、反アサド派を支援するため、2013年8月には、「アサド軍が化武兵器を使用したのでシリアを攻撃する!」と宣言しました。

誰が戦争を止めようとしたのか

2月24日版

モスクワ在住 北野幸伯

おもわく

「ISやアルカイダ系「イスラ戦線」への攻撃は今後も継続されない」(同上)

配信

2月23日火22時1分

2月22日

2月21日

2月20日

2月19日

2月18日

2月17日

2月16日

2月15日

2月14日

2月13日

2月12日

2月11日

2月10日

2月9日

2月8日

2月7日

2月6日

2月5日

2月4日

2月3日

2月2日

2月1日

2月31日

2月30日

2月29日

2月28日

2月27日

2月26日

2月25日

2月24日

2月23日

2月22日

2月21日

2月20日

2月19日

2月18日

2月17日

2月16日

2月15日

2月14日

2月13日

2月12日

2月11日

2月10日

2月9日

2月8日

2月7日

2月6日

2月5日

2月4日

2月3日

2月2日

2月1日

2月31日

2月30日

2月29日

2月28日

2月27日

2月26日

2月25日

2月24日

2月23日

2月22日

2月21日

2月20日

2月19日

2月18日

2月17日

2月16日

2月15日

2月14日

2月13日

2月12日

2月11日

2月10日

2月9日

2月8日

2月7日

2月6日

2月5日

2月4日

2月3日

2月2日

2月1日

2月31日

2月30日

2月29日

2月28日

2月27日

2月26日

2月25日

2月24日

2月23日

2月22日

2月21日

2月20日

2月19日

2月18日

2月17日

2月16日

2月15日

2月14日

2月13日

2月12日

2月11日

2月10日

2月9日

2月8日

2月7日

2月6日

2月5日

2月4日

2月3日

2月2日

2月1日

2月31日

2月30日

2月29日

2月28日

2月27日

2月26日

2月25日

2月24日

2月23日

2月22日

2月21日

2月20日

2月19日

2月18日

2月17日

2月16日

2月15日

2月14日

2月13日

2月12日

2月11日

2月10日

2月9日

2月8日

2月7日

わふう きばつ げんかん とくちよう 和風で奇抜な玄関が特徴

原、隈氏が外観を説明

伊勢神宮付近のヒノキ使用

2017年3月開設を目指す広報文化施設「ジャパン・ハウス(仮称)」(以下、JH)の総合プロデューサーであるデザイナーの原研哉さん(57、岡山)、設計デザインを監修する隈研吾さん(61、神奈川)が来伯し、25日午後、サンバウロ美術館(MASP)でトークショー(講演会)が開催され、約100人が集まつた。建築家の隈さんは「ヒノキ」「和紙」を重要資料と捉え、「通行人が思わず入りたくなるような奇抜な建築物にしたい」と説明。



陸自最高位が初来伯視察

岩田清文陸上幕僚長(59)がブラジル

の陸自最高位の来伯につ

いて、今年は日本とフ

ラジルの防衛協力がス

タートする記念すべき

年に強調。視察を通じ

て、国境整備という

重要な任務に対し近代化

を進めながら前進してい

る」と説いた。

日本におけるロシア、

ス・ペライラ陸軍中将

が、伯国での事業を昨年

北朝鮮、特に緊張感の高

まっている中国との関係

について言及し、「わが

國の領土を絶対に守ると

いう体制に変えなければ

ない」と発言。伯人

たブラジル陸軍の感想と

流れの強化が目的だった。

主催の昼食会に出席し

た。岩田幕僚長は出席者

から多くの歓迎を受けた。

一方で、各地で視察を

行つていった。現役の

幕僚長の来伯は初めて

で、来伯時のジウマ大統領と

幕僚長の来伯は初めて

